

高校生通信

トピックス

- ミクロの世界を飛び出して
～新入生インタビュー～
- ネパール医療視察



5月13日、名古屋市立大学桜山キャンパスにて「災害時の医療者としてあるべき姿とは」
講師：矢崎とも子先生（坂総合病院）



医学生からのメッセージ



● 医学部志望のきっかけ

幼い頃から、家族や友人といった身近な人々が、病に苦しみながらも乗り越えていく姿を見て、医学の進歩によって、少し前までは治療不可能であった病気が、今では治療可能な病気に変わっているという事実を知り、人の命をつないでいくことのできる医師という職業に憧れを抱いたからです。

● 学生生活

とても充実した学生生活を送っています。一年次は主に教養教育科目を学ぶので、一見医療と関わりのなさそうな科目もありますが、様々な学問に触れることで見聞を広げることができますので、真剣に授業を受けています。

高校と違い、大学は、講義や授業のない空きコマという時間もあるので、自主学習をしたり友達と少し遠くに遊びに出掛けたりと、自分の好きなように時間を使うことができます。

● 高校生の時の医師体験

高校二年生の時に、総合病院南生協病院の一日医師体験に参加させていただきました。実際に医療の現場を間近で見る

名古屋市立大学医学部医学科1年 杉山 諒輔

ことができ、医師を目指す気持ちがより強固なものとなりました。また、「病理医」という「病理診断」を仕事とする医師の存在を初めて知り、患者さんと直接対面する機会は少ないので、病理医の方々の役割の重要性を強く感じることができました。当日お世話になった南生協病院の方々に、この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。

● 入学前実習

入学前には、北医療生協で開催されている、「にじっこひろば」という子育て支援企画に参加させていただきました。地域住民の方々がボランティアとして、子どもたちに自由な遊びの場を提供するだけでなく、同時にご家族の子育てのサポートもされていることを知り、地域全体で支援活動を行っていくことの必要性を再認識しました。

● 医学部を目指す人への応援メッセージ

大学受験は本当に辛いものです。私自身も受験生の頃は、先の見えない不安に何度も押しつぶされ、自分の存在意義を疑うこともありました。しかし、結局、理想も障害もすべて己の心の中にあるものです。決意の種子があつてこそ、果実は実ります。必ず勝つんだと決意し、自分の可能性を最大限に信じ、どうか最後まで諦めずに頑張って下さい。